

「授業時間外学修」の記入について【短大】

標記の件につきまして、短期大学部では、特に具体的な記載を徹底させていただきたく、下記を参照の上、シラバス原稿の作成を宜しく願いいたします。

➤ 記入のポイント

毎回の事前事後学修について、その内容とともに目安となる学修時間を示してください。

- ◆ 各回によって求める内容や目安となる学習時間が異なる場合は、個別に記入してください。
- ◆ 事前事後学修時間の合計は、以下の通りです。
 - ・半期1単位の場合は「15時間」
 - ・半期2単位の場合は「60時間」 (※注 参照)
- ◆ 別紙の「記入案」を参考にしてください。なお、赤色二重線箇所(回数および求められる事前事後学習時間、及び最後の一文)は必ず記入してください。
- ◆ 内容の望ましい記載例・不適切な記載例
 - 「教科書指定範囲を事前に熟読し、用語や事項について下調べしておくこと」
 - 「授業で扱うテーマについて、下調べしておくこと」
 - 「授業後に学習事項と要点、考察をまとめること」
 - 「授業後に小レポート(〇〇字程度)を作成し、次回授業で提出すること」
 - ×「教科書の予習」
 - ×「教科書の復習」
 - ×「別途指示」「授業の際に指示します」

(注) 学修時間と単位について

大学設置基準では、1単位の授業科目は、45時間(内15~30時間は授業、残り時間が事前事後学修等)と規定されています。

これを本学の1単位の半期科目にあてはめると、「1単位 45時間=授業 30時間+事前事後学修 15時間(1週あたり1時間)」、2単位の半期科目では、「2単位 90時間=授業 30時間+事前事後学修 60時間(1週あたり4時間)」となります。

なお、本学では90分授業を2時間とみなしているため、時間外学修時間も同様にとらえます。

以上

問い合わせ先：
短期大学部教務委員長 鈴木久美子
suzukumi@tokoha-jc.ac.jp

「授業時間外学修」記載例

(1) 毎回、同じ学修内容と時間の場合（講義 2 単位）

毎回、授業前に、教科書の指定範囲を読んで、理解できることを把握したうえで、用語の下調べや疑問点等をまとめる（予習：1 時間程度）。

毎回、授業後に、教科書や資料を再読し、学習事項と要点、考察をまとめたワークシートを作成する（復習：1 時間程度）。

自分の理解度に合わせて授業外学修が求められるので、前述の時間とあわせて 60 時間程度の授業時間外学修が必要です。

(2) 回によって、学修内容と時間が異なる場合（講義 2 単位）

① 毎回、授業前に教科書の指定範囲を読んで、理解できることを把握したうえで、用語の下調べや疑問点等をまとめる（予習：1 時間程度）。

毎回、授業後に、教科書や資料を再読し、学習事項と要点、考察をまとめたワークシートを作成する（復習：1 時間程度）。

② 第 4 回、第 7 回、第 10 回、第 13 回にはそれぞれ小テストを実施するので、該当箇所全体の内容を確認する（復習：2 時間程度）

自分の理解度に合わせて授業外学修が求められるので、前述の時間とあわせて 60 時間程度の授業時間外学修が必要です。

(3) 毎回、同じ学修内容と時間とするが、ほかに提出課題がある場合（講義 2 単位）

① 毎回、授業前に教科書の指定範囲を読んで、理解できることを把握したうえで、用語の下調べや疑問点等をまとめる（予習：1 時間程度）。

毎回、授業後に、教科書や資料を再読し、学習事項と要点、考察をまとめたワークシートを作成する（復習：1 時間程度）。

② 第 14 回授業時に提出する〇〇という課題作成に、計画的に取り組む（予習及び復習：10 時間程度）。

自分の理解度に合わせて授業外学修が求められるので、前述の時間とあわせて 60 時間程度の授業時間外学修が必要です。